

## ごあいさつ

平素より、大変お世話になっております。

新春を迎え、平成27年が皆様方にとりまして、素晴らしい良い年となりますようお願いいたします。また、12月の総選挙でも大変お世話になりました。

さて、去年は、年度当初の4月1日より新たな会派『自由民主党豊橋市議団』を同じ志をもった16名で立ち上げることができ、設立当初の団長として、会派運営や議会運営のとりまとめをさせていただきました。

そして、5月の臨時議会において、所属会派の自由民主党豊橋市議団の方々を中心にご支持を賜り、第80代 豊橋市議会副議長に選任していただきました。その後は、藤原議長の補佐役として、議会運営や議会各派との調整など、いろいろな経験を積む事ができました。残り4月30日まで、誠心誠意、努めてまいりたいと思います。

今後も、副議長として議員として12年、これらの経験をさらに生かしながら、また、地域の方々や市民の声を聞いて市政の発展と地域の諸課題の解決に向けて邁進していく所存であります。まだまだ我が地域には、経済の好循環は見られておらず、市民生活への不安や市財政も厳しい状況下でありますので、停滞することのないように諸施策の推進をはかり、この難局を乗り切る努力をしております。

今後とも、ご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

豊橋市議会副議長 坂柳ひろみつ

新年明けましておめでとろございます

本年もよろしくお願いいたします

## 『豊橋市大清水まなび交流館』の愛称決定!!

いよいよ4月にグランドオープン!!

窓口センターは1月13日(火)より先行オープン!!

平成27年4月にグランドオープン予定で、現在、豊橋市大清水町に建設を進めている南稜地区市民館、大清水図書館、大清水窓口センターからなる複合施設「豊橋市大清水まなび交流館」の愛称が、応募総数360点の中から決定しました。

## ●最優秀賞 ミナクル

理由：地域の方々を含め、より多くの皆様に集まっていたきたいとの思いをこめて「みんな来る」という意味で名づけました。

応募者：近藤 史一

## ●優秀賞 オアシスNanryo

応募者：佐原 葵

## ●優秀賞 つどいーな

応募者：加藤 ひとみ

近藤さん、佐原さんは、南稜校区の10代の方だそうです。この施設を子どもたちを中心に、幅広い世代の方々の、教育・コミュニティーの拠点として活用して頂くことを、大いに期待します!!



【概要】

●調査目的
本市に大きな影響を及ぼす可能性の高い想定地震に対し、地震学や地震工学の最新知見、IT技術等を用い、地震・津波の詳細なシミュレーションを行なうとともに、愛知県で実施した被害予測結果を踏まえて、本市における被害の想定及び防災対策の課題を抽出することを目的として行なった。

●調査対象とした地震・津波
内閣府から公表された南海トラフで発生する地震・津波は、震度5ケース、津波11ケースと多様な発生ケースが示された。併せて、最終報告では、南海トラフの地震発生には多様性があり、駿河湾から四国沖にかけての複数の領域で同時に発生、もしくは時間差を置いて発生する等様々な場合が考えられ、地震の発生時期や規模等を確度高く予測することは困難であると指摘された。

●過去最大モデル
①南海トラフで繰り返し発生している地震のうち、過去に実際に発生したものを参考にした「過去地震最大モデル」。
②内閣府があらゆる可能性を考慮して想定した最大クラスの地震・津波に基づいた「理論上最大想定モデル」。

過去最大モデル (地震・津波の想定結果)
地震の規模: 最大震度 震度6強
津波: 到達時間(津波高30cm) 太平洋側 最短7分 三河湾側 最短77分

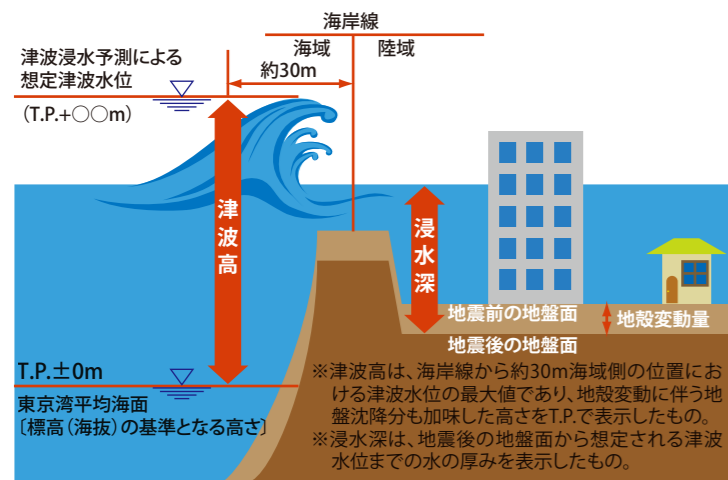
理論上最大想定モデル (地震・津波の想定結果)
地震の規模: マグニチュード9.0(津波9.1)
最大震度 震度7
津波: 到達時間(津波高30cm) 太平洋側 最短4分 三河湾側 最短77分

●留意事項
今回の調査は、一定の条件のもとに本市の被害について想定を行なったものである。しかし実際に発生する地震の規模、揺れや津波の発生状況は、必ずしも想定どおりのものとなるとは限らない。

●ハザードの想定結果
津波による被害予測: 計算結果の概要

津波断層モデル
三河湾側: 過去地震最大モデル 最大津波高 2.7m 沿岸津波の到達時間 77分 最大浸水深 3.9m
太平洋側: 過去地震最大モデル 最大津波高 6.9m 沿岸津波の到達時間 7分 最大浸水深 6.8m

最大津波高は、東京湾平均海面(T.P.±0m)から想定津波水位までの高さの最大値を言う。なお、最大津波高には、初期潮位として三河湾沿岸における期望平均満潮位(T.P.=1.0)を加味して算出している。



豊橋市南海トラフ地震被害予測調査

平成26年8月28日 豊橋市防災会議資料

～調査結果の概要及び今後の地震防災・減災対策について～

本市における災害シナリオ及び防災対策の課題を抽出することを目的として実施された、豊橋市南海トラフ地震被害予測調査結果が公開されました。これは、愛知県に大きな影響を及ぼす可能性の高い、南海トラフで発生する大規模な海溝型地震に対し、地震学や地震工学の最新の知見、IT技術などを用いて算出した県の被害想定結果を基に、本市への地震・津波の影響を詳細なシミュレーション等を行い、被害予測調査を行い、取りまとめたもので、その一部を抜粋してご紹介します。

【被害予測結果】

●建物全壊・焼失棟数
今回想定する地震動の分布及び地域別の建物棟数データに対し、中央防災会議及び愛知県の手法を準用し被害率を乗ずることで、全壊・半壊(災害の被害認定統一基準による自治体判定基準)に該当する建物被害棟数を算出。被害率は、既往地震における被害実績データの収集、分析、既往論文の調査、解析による補完等を通じて、構造別・年代別・階数別に設定。

過去地震最大モデル (単位:棟)
区分 冬・深夜5時 夏・昼12時 冬・夕方18時
地震動 5,475 (93.46%) 5,475 (90.98%) 5,475 (61.09%)
液状化 122 (2.08%) 122 (2.03%) 122 (1.36%)
津波 204 (3.48%) 204 (3.39%) 204 (2.28%)

( )内の値は、建物被害総数に占める区分ごとの割合を示します。端数処理のため合計が各数値の和に一致しない場合がある。建物被害率は133,174棟に占める割合を示す。

理論上最大想定モデル(地震動:東側ケース) (単位:棟)
区分 冬・深夜5時 夏・昼12時 冬・夕方18時
地震動 56,592 (90.65%) 56,592 (89.47%) 56,592 (82.96%)
液状化 125 (0.20%) 125 (0.20%) 125 (0.18%)
津波 395 (0.63%) 395 (0.62%) 395 (0.58%)

( )内の値は、建物被害総数に占める区分ごとの割合を示します。端数処理のため合計が各数値の和に一致しない場合がある。建物被害率は133,174棟に占める割合を示す。

校区別全壊・焼失棟数 建物被害(冬夕発災) 過去地震最大モデル (単位:棟)
小学校区 建物棟数 全壊・焼失棟数
揺れ 液状化 津波 急傾斜地 火災 合計 全壊・焼失率
中野 2,298 71 \* \* \* 48 119 5%

校区別全壊・焼失棟数 建物被害(冬夕発災) 理論上最大想定モデル (単位:棟)
小学校区 建物棟数 全壊・焼失棟数
揺れ 液状化 津波 急傾斜地 火災 合計 全壊・焼失率
中野 2,298 1,050 \* \* \* 222 1,272 55%

●生活支障等
「過去地震最大モデル」については、実際に対策を進める上で参照するものとして、生活支障等についても想定を行なった。

避難者
過去地震最大モデル
1日後 1週間後 1カ月後
避難者総数 42,535人 86,245人 34,413人
避難所避難者数 26,213人 44,719人 10,321人
避難所外避難者数 16,322人 41,526人 24,092人

校区別避難者(冬夕発災)
小学校区 1日後 1週間後 1カ月後
避難者数
避難所 避難所外
中野 611 370 240 1,802 899 903 602 181 421

【今後の地震防災・減災対策の推進について】

南海トラフにおける地震は、その震源域が陸域に近いことから、本市への影響は大きいものと考えられる。こうしたことから、建物の耐震化や火災対策などの「事前防災」により、被害の絶対量を可能な限り減じていくことが重要となっています。

豊橋市地震対策(減災)アクションプランの策定(平成26年度末予定)

対策計画の柱 主要実施事業
1命を守る
2生活を守る
3社会を守る
4迅速な復旧・復興を目指す

被害予測調査を参考に、的確な備えを行ないましょう。
紙面の都合で掲載は調査報告のごく一部となります。豊橋市防災危機管理課のホームページにて全文が確認できます。

http://www.city.toyohashi.lg.jp/16584.htm

### 平成27年度 自由民主党豊橋市議団 予算要望 (抜粋)

平成26年11月18日に市長に対し、新年度での予算反映を要望いたしました。

#### 【総務委員会】

##### 1. 豊橋市公共施設等の老朽化対策

・公共施設等総合管理計画（建築物・道路・橋梁・上下水道等）の早期策定と推進

##### 2. 地方分権進展に対応する東三河広域連合の充実

・県からの権限移譲の積極的拡大  
・地域力を発揮するための東三河広域連合総合計画（広域計画とは別）の早期策定

##### 3. 行財政改革の推進

・マイナンバー制度を利用した行政サービスの利便性向上と適切な個人情報管理  
・適正な公契約の推進  
・収入率向上対策の推進

##### 4. 防災・消防体制の充実

・豊橋市地震対策（減災）アクションプランの推進及び地域防災計画（指定避難場所の再検討を含む）の見直し  
・避難所としての小中学校の環境整備の見直し推進

#### 【環境経済関係】

##### 1. 豊橋市の活力（経済力）強化

・新成長戦略の策定（市内総生産、人口等の確実な増加をもたらすもの）  
・企業立地用地の更なる確保、整備促進

##### 2. 先進的農業の確立

・研究施設、加工施設、生産施設を含む新農業モデル地区（野菜、花き、畜産、果樹等）の設定による、新しい付加価値創造、生産効率向上、新たな経営形態の確立の推進

#### 【建設消防委員会】

##### 1. 公共交通の推進

・パーク&ライド及びサイクル&ライドのための施設整備推進  
・地域バスタクシーの推進と既存路線バス運行維持の充実

##### 2. 防災・消防体制の充実

・消防力強化に向けた車両、資器材の充実  
・市民病院のアクセス道路の液状化防止対策の推進

#### 【福祉教育委員会】

##### 1. 一人暮らし世帯の増加への対応

・独居高齢者の健康増進策（コミュニティカフェの普及促進、高齢者の働く場の拡充など）の推進  
・高齢者介護施設の増設と介護職従事者の育成推進

##### 2. 東三河地方拠点の病院としての機能充実と整備の推進

・医師・看護師等の人材確保  
・がん治療と緩和ケアの地域連携体制の確立  
・放射線治療施設の充実  
・災害拠点病院としての役割を果たすための防災対策の充実（受水槽、電気整備の他、課題の点検）

##### 3. 子育て支援の推進

・保育料補助制度の充実（国基準以上の保育料の軽減、第3子保育料の無料化）  
・保育園の安定運営に向けた人件費補助と人件育成の充実  
・放課後の総合的な児童（障害児含む）対策の充実  
・病児・病後児保育の充実（実施施設の追加）

##### 4. 教育改革の推進及び教育体制の確立

・学校現場への人的支援の充実  
・教員の不可の平準化に向けた新たな体制の確立  
・キャリア教育の推進  
・生活習慣病の知識教育  
・学校教育への円滑な移行を図るための幼保小連携推進

##### 5. 健康増進策の強化

・成人病対策の強化

##### 6. 高齢者・障害者福祉施策の充実

・介護サービス事業者職員の人材育成と就労支援  
・医療と介護の連携による在宅支援推進（医療と介護の間で迅速な情報共有の仕組みづくり）  
・精神障害者医療費の全診療科目における負担軽減

##### 7. 災害時の医療、救護体制の推進

・透析患者の支援体制の確立  
・保健所、保健センター（臨時救護機関センター）としての拠点施設整備

市民の負託に応えられるよう、自由民主党豊橋市議団16名が、  
致団結して様々な課題や議会運営に今後も取り組んでまいります！  
本年4月には、改選を迎えますが、引き続きのご支援とご鞭撻の  
ほど、よろしくお願い申し上げます！！



近藤喜典 松崎正尚 山田静雄 杉浦正和 中村竜彦 渡辺 誠 山本賢太郎 尾崎雅輝  
豊田一雄 佐藤多一 近田久久 藤原孝夫 鈴木道夫 田中敏一 坂柳ひろみつ 伊藤篤哉



#### プロフィール

昭和39年2月5日 豊橋市大崎町生まれ  
現在、豊橋市草間町二本松に居住  
豊橋市立大崎小学校・南稜中学校、  
愛知県立豊橋工業高校（機械科）卒業

昭和57年 東海理化入社  
平成 5年 参議院議員 大木 浩 先生秘書  
平成12年 衆議院議員 山本明彦 先生公設第1秘書  
平成15年 豊橋市議会議員（現在3期目）  
平成23年 議会選出監査委員  
平成26年 豊橋市議会 副議長

自由民主党豊橋市議団 団長、豊橋市農業委員 等歴任  
南稜中学校同窓会 会長、豊橋工業高校同窓会 副会長  
磯辺小学校区・南陽中学校区青少年健全育成会 顧問

連絡先  
〒441-8141 豊橋市草間町二本松39-1  
携帯090-4794-3100 Fax.0532-46-3962  
E-mail: hiromitsu@sakayanagi.com